

第9期守山市介護保険事業計画の進捗状況について

1 要支援・要介護認定者数等について

(1) 人口・高齢者数（第1号被保険者数）

人口は計画を下回りました。第1号被保険者数は、ほぼ計画見込みどおりであるが、第1号被保険者数の伸びは人口全体の伸びより大きくなっており、高齢化率は年々上昇しています。

■表1 人口および第1号被保険者数の推移

年度	人口				第1号被保険者数				高齢化率
	計画 (人)	実績 (人)	計画対比 (%)	前年度対比 (%)	計画 (人)	実績 (人)	計画対比 (%)	前年度対比 (%)	
令和6年度	86,305	85,957	99.6%	100.3%	19,391	19,315	99.6%	100.6%	22.56%
令和7年度	86,732	86,049	99.2%	100.1%	19,544	19,535	100.0%	101.1%	22.80%

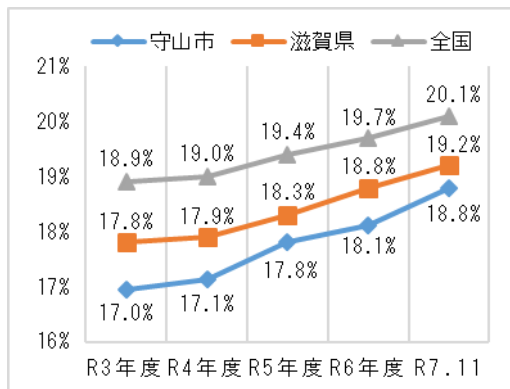
（出典）市民課資料、「介護保険事業状況報告（3月月報）」

(2) 要支援・要介護認定者数等

ア 要介護等認定者数（第2号被保険者含む）の推移

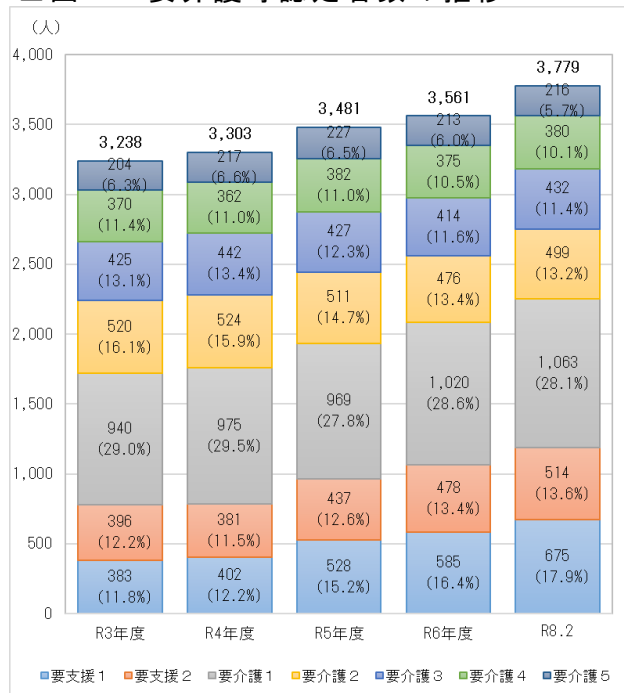
- ・認定者数の構成比は、要介護1の割合が最も多く、要支援1や要支援2の軽度者の割合が増加しています。国や県においても同様の傾向を示しています。
- ・要介護認定率は、国、県と比較すると低い状況ですが年々増加しています。

■図2 要介護等認定率



（出典）地域包括ケア「見える化」システム

■図1 要介護等認定者数の推移



【参考】認定者数に占める要支援者の割合

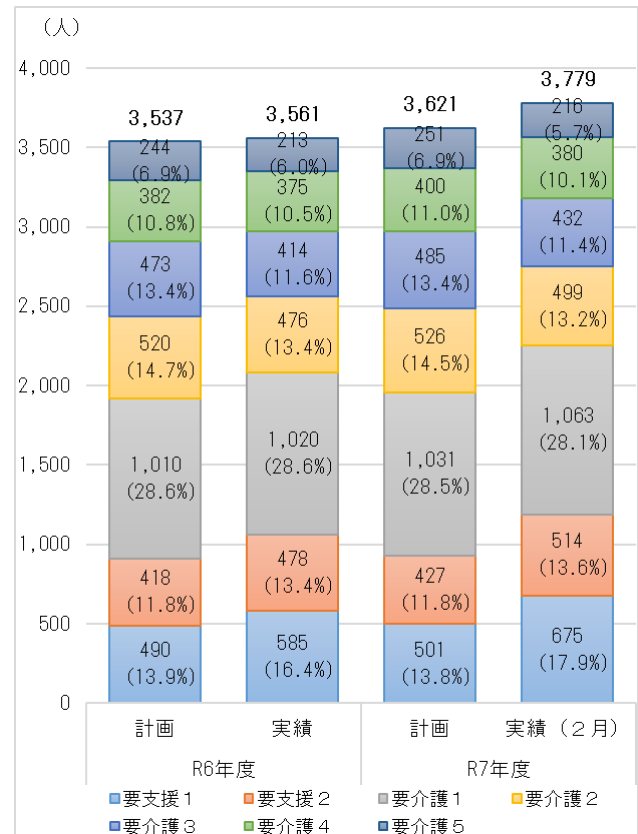
年度	全国	滋賀県	守山市
R3年度	28.3%	25.5%	24.1%
R6年度	29.1%	27.8%	29.9%

（出典）「介護保険事業状況報告（2月・3月月報）」

イ 要介護等認定者の計画値との比較

- ・第9期の要介護等認定者総数は、計画値を上回っていますが、要介護2以上の中重度者数は計画値より少なくなっています。要支援1をはじめとする軽度者は計画値を上回っており、介護度が比較的軽度となる認定者が増加しています。
- ・要因として、介護サービスの充実による介護度進行の防止、就業機会の拡大等による社会参加の機会の増加、介護予防の取組の普及、地域の見守り活動による支援など複合的な要因が考えられます。

■図3 要介護等認定者数の計画値比較



(出典) 第9期計画、「介護保険事業状況報告(3月月報)」

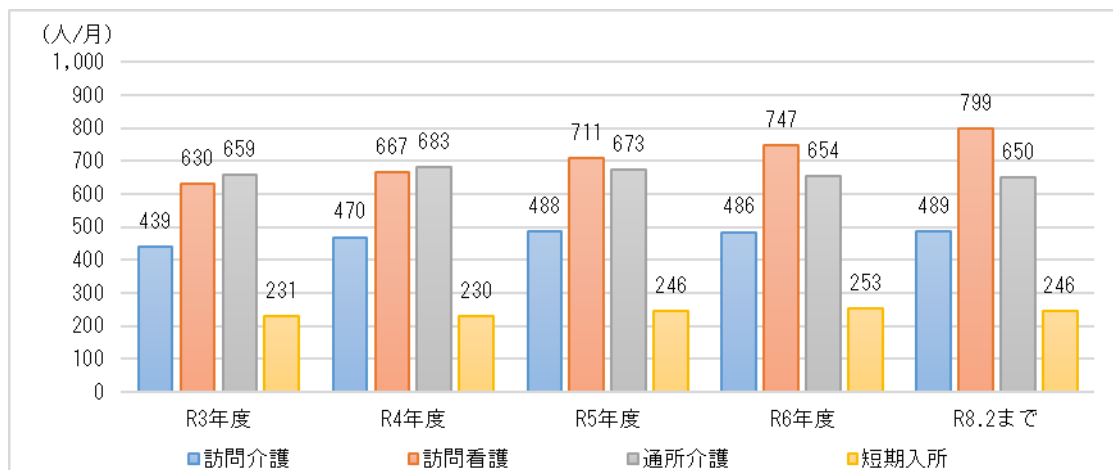
2 介護サービスの利用について

(1) 居宅サービスの状況

ア 居宅サービスの推移

訪問介護および訪問看護といった訪問系は利用が伸びていますが、短期入所は横ばい、通所介護はやや減少傾向にあります。

■図4 居宅サービスの利用状況の推移



(出典) 「介護保険事業状況報告(年報)」12ヶ月分の平均を算出

R7年度は「介護保険事業状況報告(月報)」11ヶ月分の平均を算出

イ 居宅サービスの計画との比較

短期入所をはじめ、訪問看護、訪問介護は概ね計画通りまたは計画を上回っている一方、通所介護は計画を下回っていますが、居宅サービス全体としては計画よりも増加している状況です。

■表2 居宅サービス利用の計画との比較

	令和6年度			令和7年度		
	計画 (人/月)	実績 (人/月)	計画対比 (%)	計画 (人/月)	実績 【2月まで】 (人/月)	計画対比 (%)
訪問介護	485	486	100.1%	500	489	97.8%
訪問看護	722	747	103.5%	743	799	107.5%
通所介護	690	654	94.8%	711	650	91.5%
短期入所	234	253	108.3%	246	246	99.9%

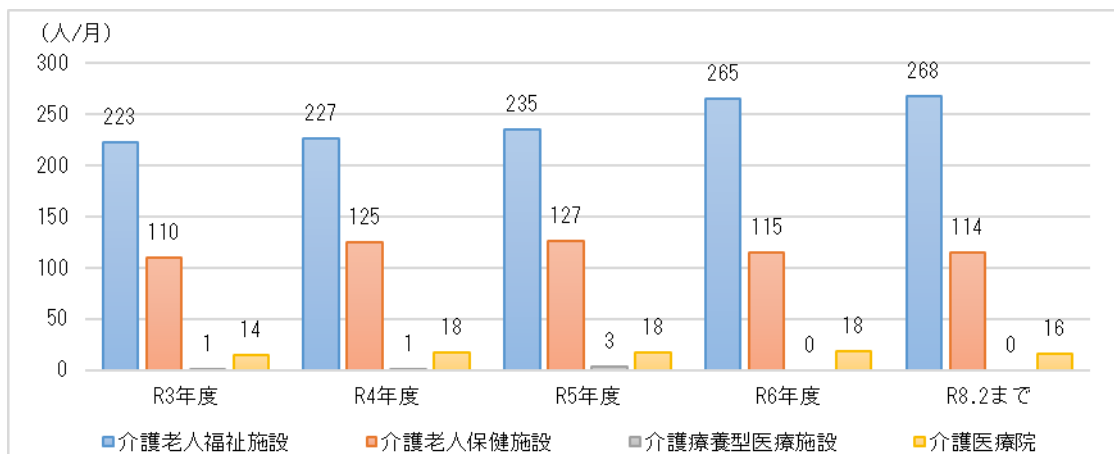
(出典) 第9期計画、「介護保険事業状況報告(年報)」12ヶ月分の平均を算出
R7年度は「介護保険事業状況報告(月報)」11ヶ月分の平均を算出

(2) 施設サービスの状況

ア 施設サービスの推移

- ・介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)は、令和3、4年に近隣市で新しい施設が開所され、本市においても、令和5年に2つの施設が増床・開所し、利用者は増加傾向にあります。一方、介護老人保健施設の利用者数は、令和5年度から減少に転じています。
- ・介護療養型医療施設は、令和5年度末をもって廃止され、平成30年度の制度改正により、要介護等認定者の長期療養・生活施設である介護医療院が創設され、令和元年度に草津市に開所以後、利用されています。

■図5 施設サービスの利用状況の推移



(出典) 「介護保険事業状況報告(年報)」12ヶ月分の平均を算出
R7年度は「介護保険事業状況報告(月報)」11ヶ月分の平均を算出

イ 施設サービスの計画との比較

- ・すべての施設において、計画を下回っています。
- ・要因として、計画では令和5年の市内介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）2施設の増床・開所による利用者数の増加を見込んだものの、その見込みより少なかったことによるものです。
- ・本市では、施設サービスの利用よりも居宅サービスの利用が増加している傾向が強くなっています。

■表3 施設サービス利用の計画との比較

	令和6年度			令和7年度		
	計画 (人/月)	実績 (人/月)	計対比 (%)	計画 (人/月)	実績 【2月まで】 (人/月)	計対比 (%)
介護老人福祉施設	334	265	79.3%	334	268	80.3%
介護老人保健施設	142	115	80.6%	142	114	80.6%
介護医療院	22	18	82.6%	22	16	74.0%

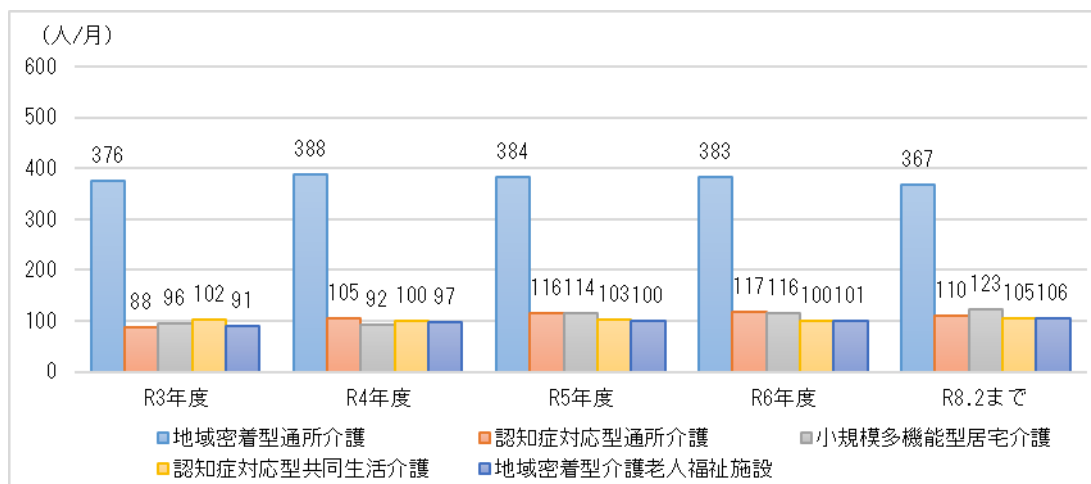
（出典）第9期計画、「介護保険事業状況報告（年報）」12ヶ月分の平均を算出
R7年度は「介護保険事業状況報告（月報）」11ヶ月分の平均を算出

(3) 地域密着型サービスの状況

ア 地域密着型サービスの推移

- ・通所系（地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護）は、近年横ばいから減少傾向にあります。
- ・小規模多機能型居宅介護は、令和5年に新たに事業所が開所され現在も増加しています。
- ・地域密着型介護老人福祉施設は、毎年増加しています。

■図6 地域密着型サービスの利用状況の推移



（出典）「介護保険事業状況報告（年報）」12ヶ月分の平均を算出
R7年度は「介護保険事業状況報告（月報）」11ヶ月分の平均を算出

イ 地域密着型サービスの計画との比較

- ・通所系（地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護）は、概ね計画を下回りました。
- ・小規模多機能型居宅介護は、新たな事業所の開所の影響もあり、計画を大きく上回っています。
- ・地域密着型介護老人福祉施設は、計画より上回っています。

■表4 地域密着型サービス利用の計画との比較

	令和6年度			令和7年度		
	計画 (人/月)	実績 (人/月)	計画対比 (%)	計画 (人/月)	実績 【2月まで】 (人/月)	計画対比 (%)
地域密着型通所介護	390	383	98.1%	401	367	91.5%
認知症対応型通所介護	113	117	103.6%	116	110	95.1%
小規模多機能型居宅介護	97	116	119.9%	100	123	122.7%
認知症対応型共同生活介護	104	100	96.0%	106	105	99.1%
地域密着型 介護老人福祉施設	99	101	102.3%	99	106	106.9%

（出典）第9期計画、「介護保険事業状況報告（年報）」12ヶ月分の平均を算出

R7年度は「介護保険事業状況報告（月報）」11ヶ月分の平均を算出

■（参考）施設整備状況

期	介護施設	施設名	開所年月	定員
第8期	小規模多機能型 居宅介護	らいふステーション憩い (NPO ゆうらいふ)	R5.1	29人
	広域型 特別養護老人ホーム	ゆいの里 (社福) 慈恵会)	R5.7	90人 +30人
		サクラベル守山 (社福) あいの土山福祉会)	R5.11	80人
第9期	看護小規模多機能型 居宅介護	事業見直し		

3 介護給付費について

- ・高齢化による要介護等認定者数の増加に伴い、介護給付費は年々増加していますが、計画の範囲内で推移しています。

■ 図 7 介護給付費の推移

